

夕焼けのためのタブロオ

高橋睦郎

ぼくは愛する

夕焼け

ヘリオガバルスの悲しい金貨の横顔

死の棕櫚のそよぐ

空の闘技場

愛しあう青年たちのように

からみあう ちいさな ちいさな 二人のスマー

こぼれた血

歩み去る人

空の両側にそりかえって

トラムペットを吹きあげる みごとなニグロ

砂を舐める古代の牡牛

その牛の顔とかさなる少年の悲しみの顔

オリーブのふた葉

そうして ミュロンのディスク投げのように

すべてを 鈍の刃の奈落に

投げ込む

為了晚霞的畫作

我愛著

晚霞

埃拉伽巴路斯悲傷金幣的側臉

死之棕櫚樹的微微搖動

空蕩蕩的鬥技場

像相愛的青年

相互糾纏的，很小、很小的兩個摔跤手

溢出的血

離去的人

在天空兩側挺胸昂首

出色的黑人吹響小號

舔舐沙子的古代公牛

與公牛的臉重疊的少年悲傷的臉

橄欖樹的雙葉

還有，像米隆的擲鐵餅者那樣

把一切都擲進

柴刀地獄的人

香港中文大學出版社：具有版權的資料

旅人

高橋睦郎

罐のふちまでたたへられて重い乳
いくつかの祈りの言葉
木の食卓にのぼされる十二の手
ささやかな木立の中の家族が いま
パンがまの内がはのやうにともる
血をジャムにしたパンが焦げる
そのかうばしい匂ひが 通りに沿った
木立の ぬれた葉のうへを這つてゆく
家のない者は うなだれて道のうへをゆく
炎えてゐるかれの臉の外
闇の中で 風が鳴つてゐる
風の中に 鈴懸の葉があつて
吹きたつてゐる頭髪の木で かれにふるへてゐる
「家もたぬ あはれな者
手をけがすまへの 聖いひとときに！」

旅人の目にみどりいろの涙がふるへてゐる

旅人

盛滿到罐口的濃郁乳汁
幾句祈禱的話
伸向木頭餐桌的十二隻手
小樹叢中的一家人，現在
正像麵包爐內部一樣燃燒
血做的果醬麵包逐漸烤焦
那香氣爬向
路旁樹叢濡濕的葉子
無家者低頭走在街道
他燃燒的眼臉之外
暗夜中，風在鳴叫
風中，懸鈴樹的葉子
在他被吹起的頭髮上向他擺動
「無家可歸的可憐人啊！
致敬弄髒手之前神聖的一刻吧！」

旅人的眼中碧色的淚滴顫抖

香港中文大學出版社：具有版權的資料

ぼくは何もいない そのほかには

ぼくは何もいない 梨の木のそよぎにみちた夜

そのほかには

ぼくは何もいない 燃えのこる空の肋骨 重い空

気 つばに濡れたトラムペット そのほかには

ぼくは何もいない ひかるあらゆる皮膚 汗と

いっせいにふるえるうぶ毛 そのほかには

ぼくは何もいない 苛酷なサポーター においた

かいファロス そのほかには

ぼくは何もいない 異端糺問の夜 精液と血糊の

におい そのほかには

除此之外，我什麼都不需要

我什麼都不需要——除了被沙沙作響的梨樹填滿
的夜晚

我什麼都不需要——除了餘燼的天空肋骨、沉重
的空氣、被口水沾濕的小號

我什麼都不需要——除了閃光的各種皮膚、汗、
一齊顫動的胎毛

我什麼都不需要——除了嚴苛的援助者、氣味兒
撲鼻的陰莖

我什麼都不需要——除了宗教審判的夜晚、精液
和血漿的氣味

香港中文大學出版社：具有版權的資料